

9月定例議会

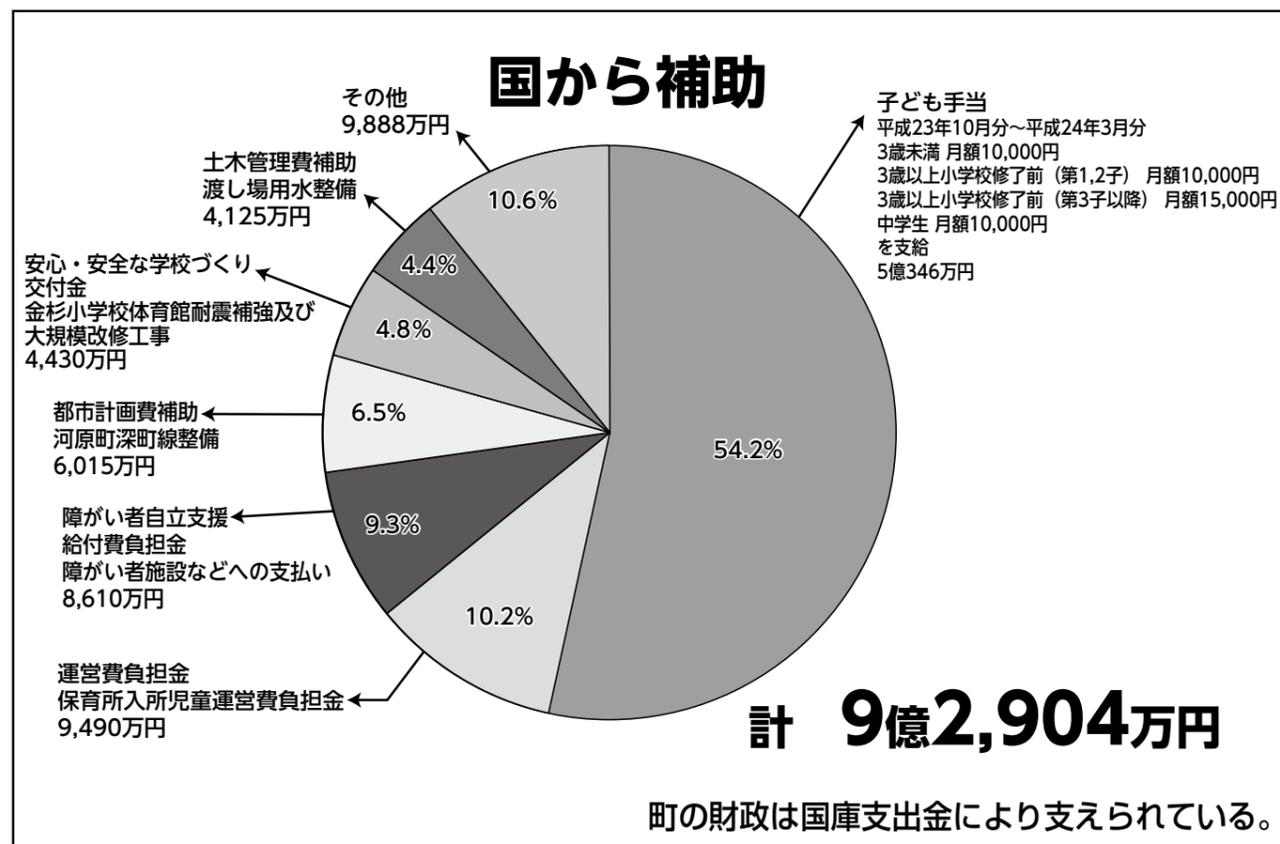
平成23年度 一般会計決算および特別会計決算（総額約144億円） 町が取り組む7つの 施政方針を検証



- 子育て支援、次世代育成のまちづくり
- 地域社会づくり、自己現実と地域文化を育む
- 福祉・健康・社会保障、自立を支えあい
- 産業振興、地産地消

- 生活基盤整備、安心・安全・美しいまちづくり
- 生活環境の充実、環境共生と循環型のまちづくり
- 行財政運営の充実、行財政改革の推進

平成24年9月定例議会は8月31日から9月20日までの21日間開催された。
平成23年度決算審議など議案の全てが可決された



一般会計決算の質疑

- 問 町の人口は、1年間で170人が減少している。計画では平成25年度に、3万5千人とあるが、変更する必要があるのではないか。
- 答 企画財政課長 次の計画で検証、研究する。
- 問 町長公約の「暮らし満足度」は充分か。
- 答 企画財政課長 目標の64項目のうち17項目を達成。計画期間は25年度までなので計画的に事業を進めて行く。
- 問 町長の施政方針に、「少子化対策は高齢化社会への対応もあり重要」とのべているが、成果はどうか。
- 答 企画財政課長 第2中学校区に「地域子育て支援センター」を整備して支援を強化した。金杉小学校体育館の耐震補強と大規模改修、小学校普通教室に扇風機を設置して教育環境の向上に努めた。
- 問 町税の徴収率は86.8%で前年より0.9ポイントの増。現年課税分徴収率97%で0.7ポイントの増。滞納繰越分徴収率は23%で2.6ポイントの増と収納率の向上に努力が見られる。
- 答 税務課長 国税局出身者の徴税指導員の配置や埼玉県税務職員の市町村短期派遣制度を活用。今年度からコンビニエンスストアの収納を導入した。

特別会計決算の質疑

- 問 国民健康保険税は、年間所得100万円以下の世帯は2796世帯で約半数。負担額は15%弱。100万円以上の世帯は85%を負担しているため高いと感じている。
- 答 住民ほけん課長 松伏町は、所得割、均等割、資産割で決定している。低所得者に対しては22年度から7割、5割、2割の軽減策をとっている。
- 問 平成23年度の介護保険法の改正で介護療養病床の転換時期を延長した。保険給付費の影響はどうか。
- 答 住民ほけん課長 老人保健施設等への転換が進んでいないので6年延長された。最も高額な介護療養型の施設利用は約950件と多いので見込みより約8500万円多くなった。

一般会計決算の討論

- 【反対討論】** 日本共産党 吉田俊一
子ども医療費無料化は住民税非課税世帯のみ中学卒業までだった。東埼玉資源環境組合負担金は平等割15%は根拠がない。越谷斎場は不用額が出ているので合理的運営を求めます。
- 【賛成討論】** 新自民クラブ 山崎善弘
町道6号線整備事業や町道拡幅工事の実施、国・県への積極的な要望活動、体育館照明のLED化、金小体育館大規模改修とともに太陽光発電の設置、ファミリーサポートセンターを併設した子育て支援センターの整備、B&Gの改修工事、中央公民館の改修工事等、住民本位の行政運営を行った。

採決の結果

- 賛成12人 ○新自民クラブ 山崎、莊子、松岡 ○新政クラブ 高橋、佐藤、福井、鈴木（勉）
○町民クラブ 鈴木（勝）、堀越、長谷川 ○公明党 佐々木、川上
- 反対2人 ○日本共産党 吉田、広沢